

by 寺庭婦人

迷惑をかけない人生

常々人に迷惑をかけてはいけないと子供たちには教えています 私もそう教わり なるべく迷惑をかけずに一生を終えたいと思っています

新聞にこんなことが書いてありました

『迷惑をかけたくない』は違和感を覚える言葉

周囲に迷惑をかけずに生きていける人がいるのだろうか

人は一人では生きていけない

互いを理解して 信頼関係が少しでも築けていれば きっと迷惑を迷惑と感じない 周囲に助けられたら ありがとうと感謝の気持ちを伝える そんな心の通った関係は いつしかお互い様だから大丈夫!に変わる

子供がうるさくてすみません 長生きしてすみません 忘れっぽくてすみません お互い様だから大丈夫…

きっと安心して子育てができ 長生きするのが楽しみな人生

お互い様だから大丈夫!と言い合える世の中になるといいですね

予定していた法要、坐禅会などは全て規模縮小や中止となりました。6月7日に開催 予定だった天目山茶会も新型コロナウイルスの緊急事態宣言および感染防止の観点か ら中止とさせていただきました。収まりましたら、茶会に限らず何か楽しめる行事の 開催を検討いたしますのでご理解をお願いいたします。9月以降の諸行事は例年通 り、むしろ例年以上に盛大に開催できたらと考えております。ホームページ、住職日 単、インスタ等でも情報更新してまいりますので、その際はぜひご来山ください。

※檀家の皆様へ 7月、8月のお盆は例年通り行う予定です。 7月27日の開山忌(業海和尚命日)も行いますのでお参りください。

く発行者>

臨済宗建長寺派 天目山 栖雲寺 住職 青柳真元 〒409-1201 山梨県甲州市大和町木賊122 TEL 0553-48-2797

ホームページhttp://www.tenmokusan.or.jp または[栖雲寺]で検索



公式ホームページ



付職日単(blog)



Instagram

お寺の説明、行事案内など

日常をありのままに、住職日誌

天目山の写真 Please follow

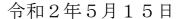
栖雲寺たより

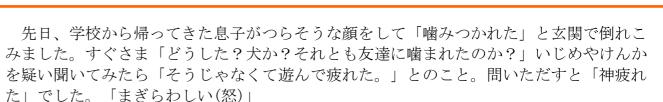




第32号

発行日



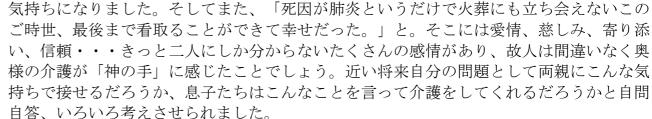


日常会話の中で「神」を乱発してきます。「あいつ神ってる」「神やさしい」など相手 を最大限に褒めていることはわかります。ただ「神強い」は理解できても「神弱い」には 違和感をおぼえました。神は無敵なはず・・・ただ単にものすごくという程度のことなの でしょうが、多用されすぎて身近なというより神様軽いなという印象です。

コロナ禍で外出自粛の最中でも葬儀は行われます。先日出頭した葬儀で、式後の喪主挨 拶の際に親族や参列者の前で奥様が涙ながらに発した言葉がとても印象的でした。

「もっとたくさん、夫の介護がしたかった。」

介護疲れ、介護鬱、介護難民、介護貧乏、老老介護、認認介護。介護と 言って思いつく言葉には負のイメージのものが多くあります。そしてその イメージが介護に対する一般的な認識だと思っておりました。それなので 「もっと介護がしたかった」には衝撃を受けると同時にとてもあたたかい

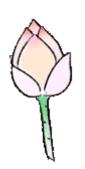


超高齢化社会、要介護者を取り巻く環境は日本社会が抱える大きな問題の一つです。そ んな中で今回の新型コロナウイルスの綱渡り状態にも関わらず、医療従事者や介護関係者 が取った「神対応」には感動いたしました。私などは日々耐え忍んで祈ることしかできま せん。ただ、人類の長い歴史の中で、数々の疫病を互いに寄り添い祈りと共に乗り越えて きたという事実も忘れてはいけません。外出自粛、マスク着用、三密回避、ワクチンの開 発等々、物理的科学的な対策が何よりも重要なのは言うまでもありませんが、祈りも同じ くらい大事なことなのです。今こそこの礎に立ち返って他の人に思いを致し、密は避けて も心には寄り添い、終息を願う。今しかできない心の修養に努めたいものです。

栖雲寺には摩利支天という神様がお祀りされており、「神だのみ」 祈りをささげています。徐々に収まっているようにも思えますが、今 後は第二波も想定される中で、皆様もお寺で一緒に、無理なら星空に 手を合わせ、コロナで亡くなった方に・闘病中の方に・医療従事者介 護関係者に・そして早期終息を願い、ともにお祈りいたしましょう。

コロナに疲れたら、生活に疲れたら、人生に悩んだら、どうぞお寺 に来てください。





【令和2年 春の報告】

くライブ>

まだ緊急事態宣言発令前の2月25日。藤巻亮太さんのライブに招待してもらい新宿の紀伊国屋シアターへ行ってきました。これまでにもお誘いをいただいていたのですが都合が悪く、やっと念願がかないました。藤巻さんは卒業ソングの「3月9日」や「粉雪」などのヒット曲で有名な言わずと知れた笛吹市出身のミュージシャンです。

ライブ終了後にはまだお疲れのところしばらく お話をさせてもらい、今度栖雲寺と建長寺に来て もらう約束をしました。できればそこで至福の音



を聴かせてもらえたらうれしいけどそれは欲張りすぎでしょうか。これからも益々のご活躍をお祈り申し上げます。

く法 事>

緊急事態宣言後は、いわゆる三密を避けようと法要も対策を講じました。

毎年恒例の摩利支天大祭は地元の方のみの参拝とし、お堂の外で焼香。檀信徒の年忌法要も本堂は全開、椅子も間隔をあけて設置しております。



く良縁成就>

檀家のおばあさんが亡くなり、親族との打ち合わせ時に経歴や家族構成などを話していて驚きました。亡くなったおばあさんは元々天目の出身で、そこまでは檀家ですから普通のことですが驚いたのはその後。孫娘さんが昨年結婚されたそうでして、その結婚相手(旦那様)のおばあ様も・・・なんと天目出身。しかもご実家は、今回亡くなったおばあさんの実家の隣の家だそうです。

つまり、天目の隣同士の家から出た方のそれぞれの孫達が、全くそんな事を知らずに付き合い始め、後からその事実に気がつき、そして結婚する。

天目地区には10世帯もございません。そのうちの隣同士の2軒ですから、これが摩訶不思議なご縁というもの。天目を源流とする2本の支流が甲府盆地に流れ出て、数十年の時を経て合流する。

亡くなったおばあさんもきっと喜んでいるはずです。枕経で ご遺体を前にしての会話でしたが、一言お祝いを申し上げまし た。

合流したその清らかな流れで、どうぞ人々の心を癒す福泉となっていただくことを切にお願いいたします。お二人の幸せを心からお祈りいたします。



<射 雲>

外出の自粛中、いつもは笑顔にしてくれるさわやかな青空にぼやいてしまいました。出かけようと計画していた休日に雨が降れば薄暗い曇天にぼやくというのに身勝手なことです。 今年ばかりは何もできない日本晴れ。空に罪はないけれど、無駄に青い空につい恨み節。ある晴れた日にまるい雲を眺めていたら弓道の的が頭に浮かび、修行時代を思い出しました。

修行道場での雲水時代、園頭(えんず=畑)作務の休憩中に先輩雲水と、道場を出て和尚になったら住職する寺の境内に何を作りたいか、という会話になったことがあります。私は禅堂や本堂ではなく「弓道場を作りたいです」と迷わず即答しました。境内に弓道場を作る、それが私の夢でしたが、縁あって住職した栖雲寺は境内地が狭く、射場と28mの矢道と的前を無理やり作ろうにも斜面ばかりで平坦地がほとんどなく厳しいのが現状。ですから入寺した当初から弓道場など考えたこともなく、頭の片隅にもございませんでした。

でも『弓道』をやろうとすると完全に無理ですが、なにも『弓道』じゃなくてもいいのだと発想を改めました。弓が引けて的があればそれで立派な弓術。弓道連盟などの諸団体から「こんなもの弓道じゃない」と言われるでしょうが、別に段位が欲しくてやっていたわけではないですから、そこは方向を変えて自分のやりたい形で弓を引くことにしました。そもそも栖雲寺鎮守の摩利支天様などは、6本の手に弓矢のみならず刀も槍も軍配も奉持されており、住職も型に捉われなくてもよいのではないかと考えました。



石庭、裏庭など、自然そのままの射場です。

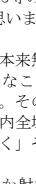
小川のわきに白雲に見立てた的を設置。 的までの距離だけは正確に測りました。 神前礼拝は摩利支天様に。

そよ風を受け、鶯のさえずりを聴き、小川の音で心を静め、行く雲の 如く自然に身を任せて一射。 そこに響く弦音・・・・・



記念すべき1人初射会は、この環境 に心洗われて六射五中。欲を言えば 一矢だけでも自分で書いた一円相の 真ん中を射抜きたかったです。

今回のコロナ禍があったから気づいたお寺の可能性。境 内各所を射場にして弓を引いてみようと思います。



『本来無一物』

余計なことは考えずただ 「**表庭の**局台は止血に富士山」 無心に。その目指すところは弓も禅も何ら違いはありませ ん。境内全域が心の道場です。禅の境地で「空にある白雲 を射抜く」その日まで。歩々是道場、着実に一歩ずつ。

いつか射雲弓術大会でも開催出来たらと考えております。天目山洗心道場で一緒に弓を引きましょう。

